

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)5月31日
所属名：湖北農産普及課
番号：G23002
部門分類：150(野菜)
発信者名：近藤

赤ジソの栽培が始まりました

長浜市の余呉地域で、今年も赤ジソ栽培が始まりました。5月25日に今年度第1回の栽培研修会において、当課から生育状況や病害虫の発生状況を確認し、今後の管理について助言を行いました。

当地域では、耕作放棄地の再生・活用対策として、10年前から赤ジソ栽培が行われています。赤ジソは獣害に強く、中山間地でも栽培可能です。今年は、「赤ジソ栽培会」会員の11戸が計37aで作付けされています。

3月23日に会員が共同で播種作業を行い、市の施設で共同育苗した後、4月下旬から5月上旬にかけて植え付けされました。

研修会当日は、各戸の栽培ほ場を巡回しました。今年は5月以降、夜温が低い日が続いたこともあり、例年より草丈は低い傾向となりました。しかし同じ日に植え付けたほ場間でも生育差が見られました。意見交換する中で、植え付け後の灌水や、排水対策の重要性が再認識されました。

赤ジソは比較的病害虫の発生が少ない作物ですが、アブラムシ類や、チョウ目幼虫が発生するため、早期発見・早期防除が必要です。この日も巡回の中でチョウ目幼虫の発生を確認しましたため、防除実施を呼びかけました。

7月上旬から早いほ場では収穫が始まり、主に県外の梅干し業者向けに出荷されます。出荷は枝ごとですが、出荷先では機械で葉取り作業が行われるため、草丈を60cm以上確保する必要があります。このため、草丈を伸ばすための適期追肥に加え、梅雨入り後にはほ場が冠水するなどして根が弱らないよう、改めて排水溝を整備するよう助言しました。

今後も赤ジソ栽培会やJAと連携して、ほ場巡回等で適切な栽培管理が行われるよう支援し、確実な出荷や販売につなげていきます。



現地ほ場で当面の管理を説明



草丈15cm程度に育った赤ジソ